

# 大学生の就職内定率、過去最低の77.4%！

## —前年同期比で2.6ポイント低下—

旺文社 教育情報センター 平成23年3月

文部科学省および厚生労働省はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、平成23年3月卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率（以下、内定率）は、23年2月1日現在で77.4%（前年同期比2.6ポイント低下）。“新氷河期到来”といわれた前年度を下回る、非常に厳しい状況であることが判明した。

### 概況

#### ● 2月1日調査を開始の11年度以降、“過去最低の内定率”

大学生の内定率は、前年同期比で2.6ポイント下回り、12月1日調査（前年同期比4.3ポイント低下）に引きつづき、2月1日調査を開始した11年度以降で“過去最低”となった。最低だった21年度の80.0%をさらに下回る、非常に厳しい水準である。また、短大女子も内定率63.1%前年同期比-4.2ポイントで、11年度の過去最低に次ぐ低い水準となった。

#### ● 内訳—私立女子苦戦、国公立理系大きく低下—

大学生の内定率を男女別にみると、男子は78.9%（前年同期比-1.2ポイント）、女子は75.7%（同-4.2ポイント）と女子の下げ幅が大きい。12月1日調査に引きつづき私立大女子は73.1%（同-3.1ポイント）で、大学の中では最も低い内定率となった。文理別では、文系が76.8%（同-1.9ポイント）に対し理系は80.3%（同-5.9ポイント）、特に国公立大理系は83.8%（同-7.2ポイント）と最も大きく低下した。設置者別では、国公立大が84.0%（同-2.9ポイント）、私立大が75.4%（同-2.2ポイント）と、国公立大と私立大の内定率の差は、昨年の9.3ポイントから8.6ポイントに縮まった。

地域別の内定率では、北海道・東北地区78.3%（同+0.5ポイント）を除いた全ての地区で低下しており、九州地区70.5%（同-4.7ポイント）が最も低く、下げ幅は中部地区の-6.6ポイント（内定率70.7%）が最大。なお、近畿地区80.3%（同-1.3ポイント）の内定率が最も高い結果となった。

文部科学省（以下、文科省）と厚生労働省（以下、厚労省）が調査した2月1日現在の大学生の就職内定率は10月1日、12月1日調査に引きつづき過去最低となり、3月新卒予定者の就職状況は、前年にも増して非常に厳しい水準となった。また、3月11日の東日本大震災により、新卒者等の就職活動等や内定状況等に影響がおよぶ可能性も考えられるため文科省、厚労省および経済産業省では、“今後の緊急対応策について検討を行っている”と発表した。厚労省の推計値によると、大学の3月新卒予定者数は55万5千人（以下の人数は厚労省推計値）。大学就職希望者数は10月1日調査41万人、2月1日調査39万7千人で、この間約1万3千人の新卒予定者が、就職を諦めたか進路を変更したことになる。また、2月1日調査の大学就職内定者数は30万7千人。卒業目の状況で、就職先が決定しない就職希望新卒予定者が約9万人にのぼる。就職環境は未曾有の厳しさで、今後の動向に引きつづき注意していきたい。

## <文部科学省・厚生労働省の調査概要>

### ○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文部科学省・厚生労働省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

### ○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

### ○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

### ○調査時期

平成 22 年 10 月 1 日、12 月 1 日、23 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

## 平成 22 年度

### 大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（平成 23 年 2 月 1 日現在）

\*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校

\*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

\*前年度就職率＝平成 22 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

\*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

#### [全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	71.2% (▲0.9)	77.4% (▲2.6)	91.8%
国公立	51.6% (▲4.2)	84.0% (▲2.9)	94.5%
私 立	80.9% ( 0.7)	75.4% (▲2.2)	90.8%
短 期 大 学	78.7% ( 1.6)	63.1% (▲4.2)	88.4%
高 等 専 門 学 校	56.3% ( 0.0)	97.3% ( 0.0)	99.5%
合 計	70.8% (▲0.6)	77.1% (▲2.6)	91.9%

#### [男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	65.3% (▲1.2)	78.9% (▲1.2)	92.0%
国公立	44.2% (▲3.0)	84.3% ( 0.3)	94.1%
私 立	76.6% (▲0.2)	77.3% (▲1.5)	91.4%
高 等 専 門 学 校	56.3% ( 0.0)	97.3% ( 0.0)	99.5%
合 計	64.2% (▲1.0)	81.0% (▲0.9)	92.9%

#### [女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	79.4% (▲0.5)	75.7% (▲4.2)	91.5%
国公立	63.2% (▲6.1)	83.7% (▲6.4)	94.9%
私 立	86.5% ( 1.9)	73.1% (▲3.1)	90.2%
短 期 大 学	78.7% ( 1.6)	63.1% (▲4.2)	88.4%
合 計	79.2% (▲0.1)	73.1% (▲4.3)	90.9%

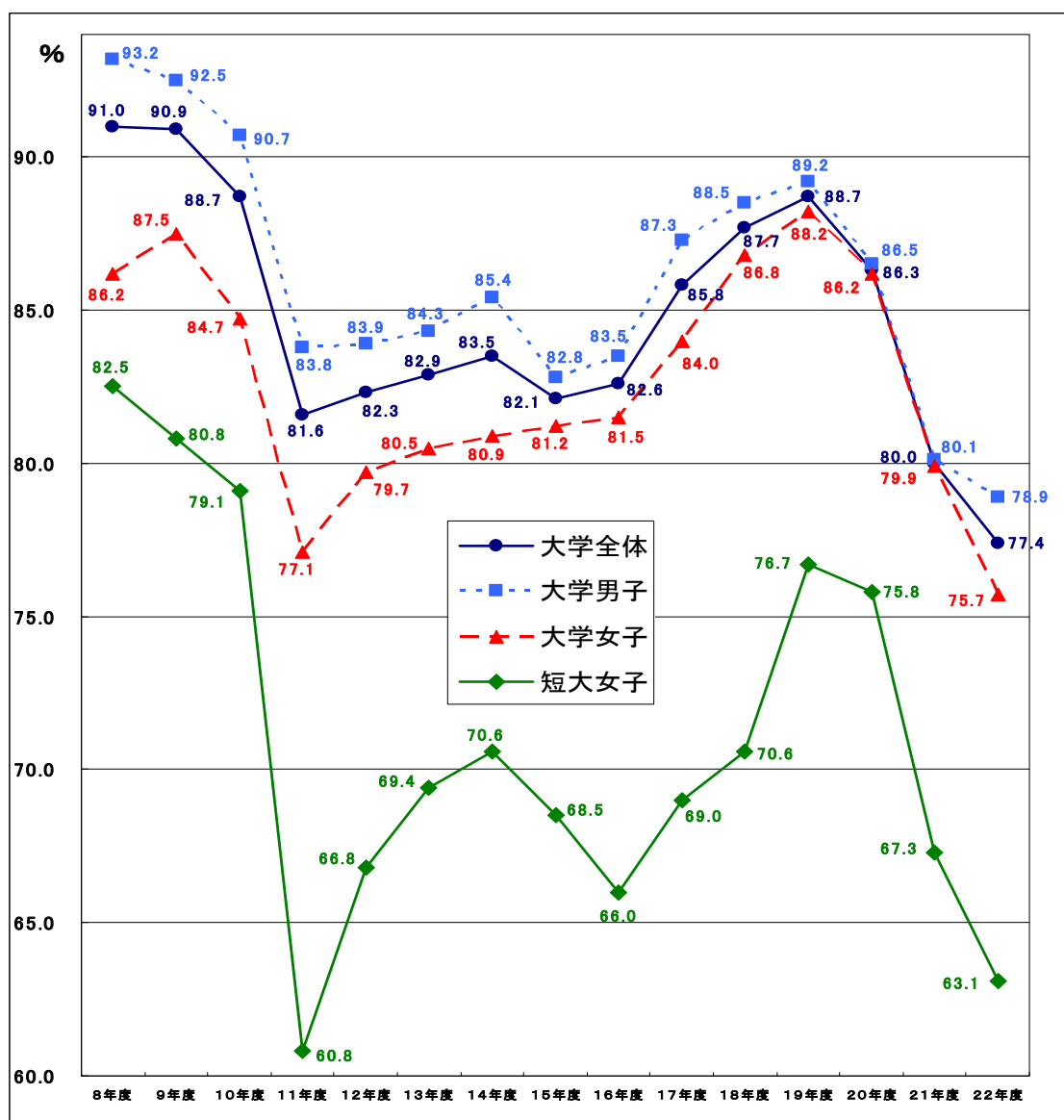
[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	76.8% (▲1.9)	80.3% (▲5.9)
国公立	84.2% (▲0.7)	83.8% (▲7.2)
私立	75.1% (▲1.9)	77.4% (▲4.3)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	78.3% ( 0.5)	近畿	80.3% (▲1.3)
関東	79.9% (▲2.7)	中国・四国	76.3% (▲1.1)
中部	70.7% (▲6.6)	九州	70.5% (▲4.7)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（平成23年2月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施(平成8年度から10年度まで、3月1日現在の調査)。